

照陽の家だより

とっとり花回廊散策

今年も早や残すところ1ヶ月半となりました。これまで体験した事のない猛暑に喘ぎながら心から待ち望んだ「秋」。日本から四季が無くなるのでは、と危惧される中、照陽の家では恒例の「秋のとっとり花回廊」散策に出かけました。吸い込まれるような秋晴れの下、絨毯を敷き詰めたようなサルビア畑、コスモスが風になびくコスモロードなど溜息が出るほどの美しさを満喫しました。利用者様の弾んだ声や表情に職員も喜びを感じる一日となりました。



干し柿づくり 今年も自慢の腕前を見せて頂きました。

10月27日に干し柿づくりを行いました。利用者様にはピューラーで皮むきをして頂きました。「出来上がりが楽しみだねえ。」「早く食べたいねえ。」など会話も弾みます。今年もおかげ様で季節を感じられる良い行事になりました。たくさんの利用者様に参加して頂き感謝しています。そして完成した干し柿を食べるのが今から楽しみです。



★外部研修参加報告 (テーマ：苦情対応の基本的な考え方)

令和4年度の鳥取県福祉サービス運営適正委員会によせられた相談内容には、職員の接遇とサービスの質や量が過半数を占めている事を研修を通して知りました。私達は普段から最適なサービスを提供できるよう、ご利用者様やご家族様とは密に関わりを多くもち信頼関係を築けるよう努めていますが職員の何気ない言葉使い、態度等が不快な気持ちへと繋げてしまうのだと改めて感じました。「クレーム」とは、正当で当然の権利を主張する・要求すること。「苦情」とは、他からの害や不利益を被っていることに対する不平・不満。クレーム＝苦情ではありません。クレーム・苦情を利用者様、ご家族様からの提言、意見、生の声、社会のニーズと捉えると貴重な情報を得る事ができます。自分たちが提供している福祉サービスに対するご意見をより良い改善のきっかけと考え「教えて頂いて有難い」という気持ちを持ちチーム全体で改善に向けて取り組んでいこうと思います。

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



白寿のお祝い：K様
99歳おめでとうございます！

一世紀に渡り生き抜かれた偉大な人生に心から敬意を表します。これからもお元気にお過ごし下さい。

お誕生日
おめでとう！



地域交流 「照陽の家だより」 お届けしています。

毎月発行している照陽の家だよりのポスティングを利用者様と行いました。気候のよい春や秋は利用者様と地域のお店やお家に照陽だよりを配りに出かけています。写真のように直接渡すなどし利用者様と地域の方との交流を深めています。角盤町は繁華街だったこともあり利用者様からいろいろな思い出話も沢山聞くことが出来ました。



調理担当



山根 さとえ

皆様こんにちは。私は調理担当となってから早や8年が来ようとしています。毎日お一人お一人の顔を拝見しながら、また健康状態を職員と共有しながら何とか一人でも多くの方が完食して頂ければと日々奮闘しています。春夏秋冬、海の幸、山の幸と季節の食材を取り入れ喜んで頂く献立を考えていますが利用者様は特に麺類が大好きで蕎麦などお出しするととても喜ばれます。また食事形態もミキサー食、刻み食など多様ですが少しでもお口から食べて頂けるよう、そして照陽の料理が楽しみと言って頂けるようこれからも精進して参りたいと思います。